

・フィードバックコーナーでは、メンバーが野生ポストで繰り返していた「レベルが低い」という言葉について、使わないでほしいと思ったことを、押し付けの練習を兼ねて伝えた。

感情論ではなく、なぜ使わないでほしいと思ったかを自分なりに考えてMtgに臨んだつもりだったけど、メンバーが納得する程の材料にはならず、改めて押し付けの難しさを感じた。

一生懸命拾おうとしてくれるメンバーに伝わらないのであれば、恐らく誰にも伝わらない。

もう1人のメンバーの力を借りて、言語化に苦心しながら、少数派の立場になった時に感じる不安と根本が似ているのではないかと何とか伝えることができた。

途中でギブアップしてたらこの話は出て来なかったのも、諦めないで良かったと思った。日常生活ではここまで伝えるのに難しさを感じることはない。それは普段が想定範囲内のコミュニケーションしかしてないからだろう。新しい人間関係を手に入れたかったら、今までとは違うコミュニケーションを取る必要がある。その練習をチームItoではしていきたいと改めて思った。

オフ会の件については、投稿からは「みんなから“話したい”という気持ちが見えなかったこと」を陽子さんは残念に感じているのだと思っていたが、実際に話を聞いて、色々な思いを知ることができた。陽子さんが後輩を連れて来たのは、単純に後輩のためだけではなく、10プロメンバーの学びになればという意図があったことを知った。

そして、話ができなかったのは、フラットなコミュニケーションが取れていないからだと言われた。指摘してもらった。「こう言ったらこう思われるかもしれない」、「きっとこう思ってるんだろうな」そういう無言の忖度が「言えない」に繋がって、曖昧な状態を生み出している。

陽子さんの投稿を読んだ時点では、準備の問題だと思ったけど、もっとベースにある人間関係の問題なんだと気付かせてもらった。

合宿については、それぞれ考えて来たプランを共有し、第2回の合宿に向けて具体的に動き出した。以前はどぎまぎしながら発表する感じだったが、「これやりたいんだよね〜」と楽しみながらプランを言い合える関係になれたことを嬉しく思った。

SNS運営についても具体的に決まって、10年プロジェクトはこれからさらに変化してくのだろうと期待感が増した。

今回も色々な話題が出て、学びの多い時間だった。合宿まで気付けば残り2ヵ月(!)合宿本番よりもあと2ヶ月の過ごし方で合宿の満足度が変わって来ると思うので、昨日の緊急mtg然り、今まで以上にチームで伝え合うことを意識して過ごしたいと思う。今回も遅くまでありがとうございました！

(E.M 40代女性 埼玉県)